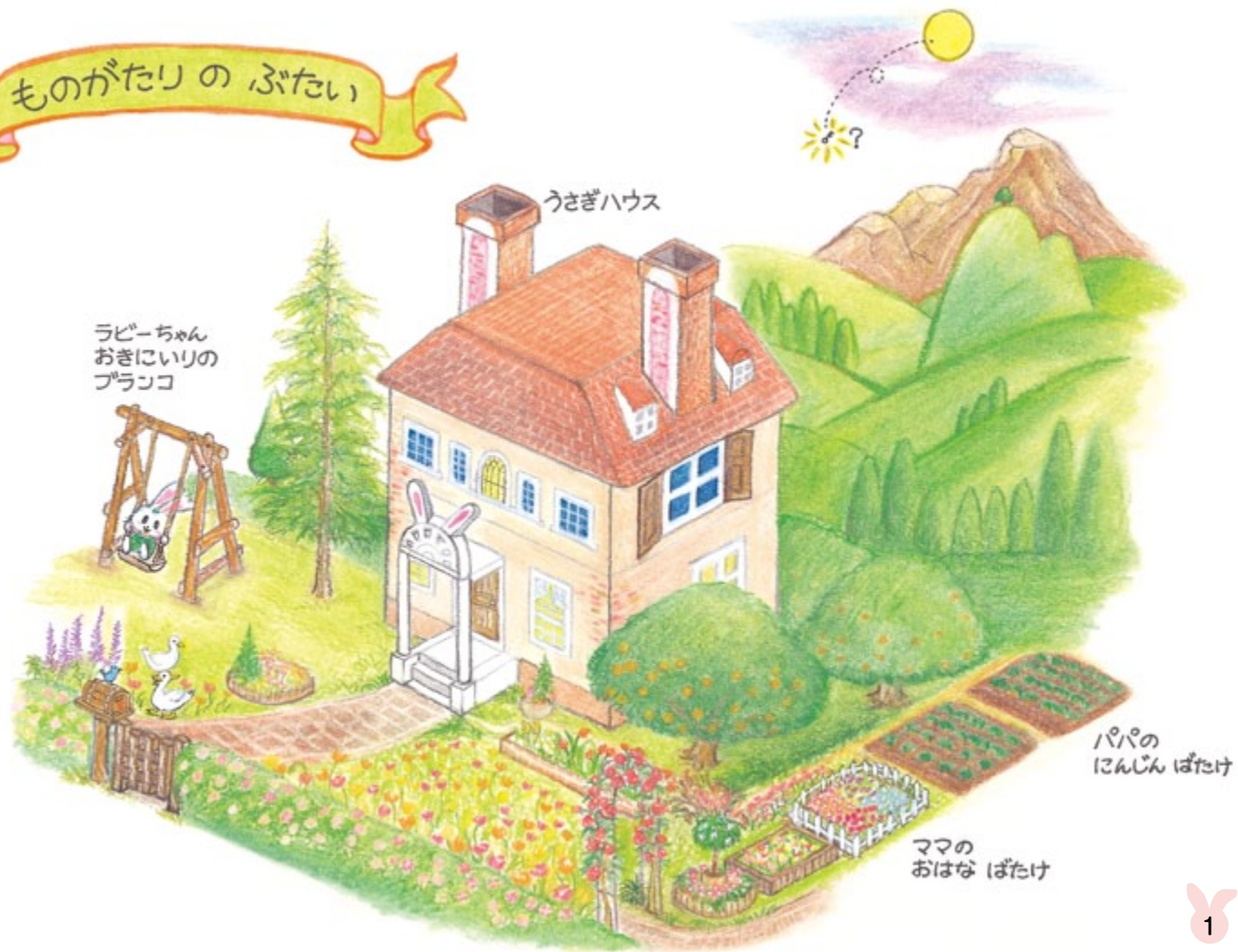


ラビィのつきりょこう



ものがたりのふたい



うさぎハウス

ラビーちゃん
おきにいの
ブランコ

パパの
にんじんばたけ

ママの
おはなばたけ



つきの きれいな よる
「だれなの？」
ちいさな ちいさな
こえが きこえます

「ラビーちゃん！ ラビーちゃん！」



「ぼくより ちいさな うさぎさん！
どこから きたの？」

「わたしは つきから きた くるうさぎ ミミ
だいじな カギを おとして しまったの」

ラビーは いっしょに さがしてあげました

あっち

こっち

そっち

どっち

ぴょん

「ミミちゃん
みつけたよ！」

「ありがとう ラビーちゃん
おれいに つきに
しょうたい するね！」



「わたしを ポケットに いれてみて！
ぴょーんと ジャンプ できるから」



ひょん

くまくん の すむ
おうちの うえ

ニャー

ひよ
ん



ホー
ホー

フクロウさんの すむ
きの てっぺん

ひょう へん



かみなりさま の
すむ くもの うえ

ひょん

ん

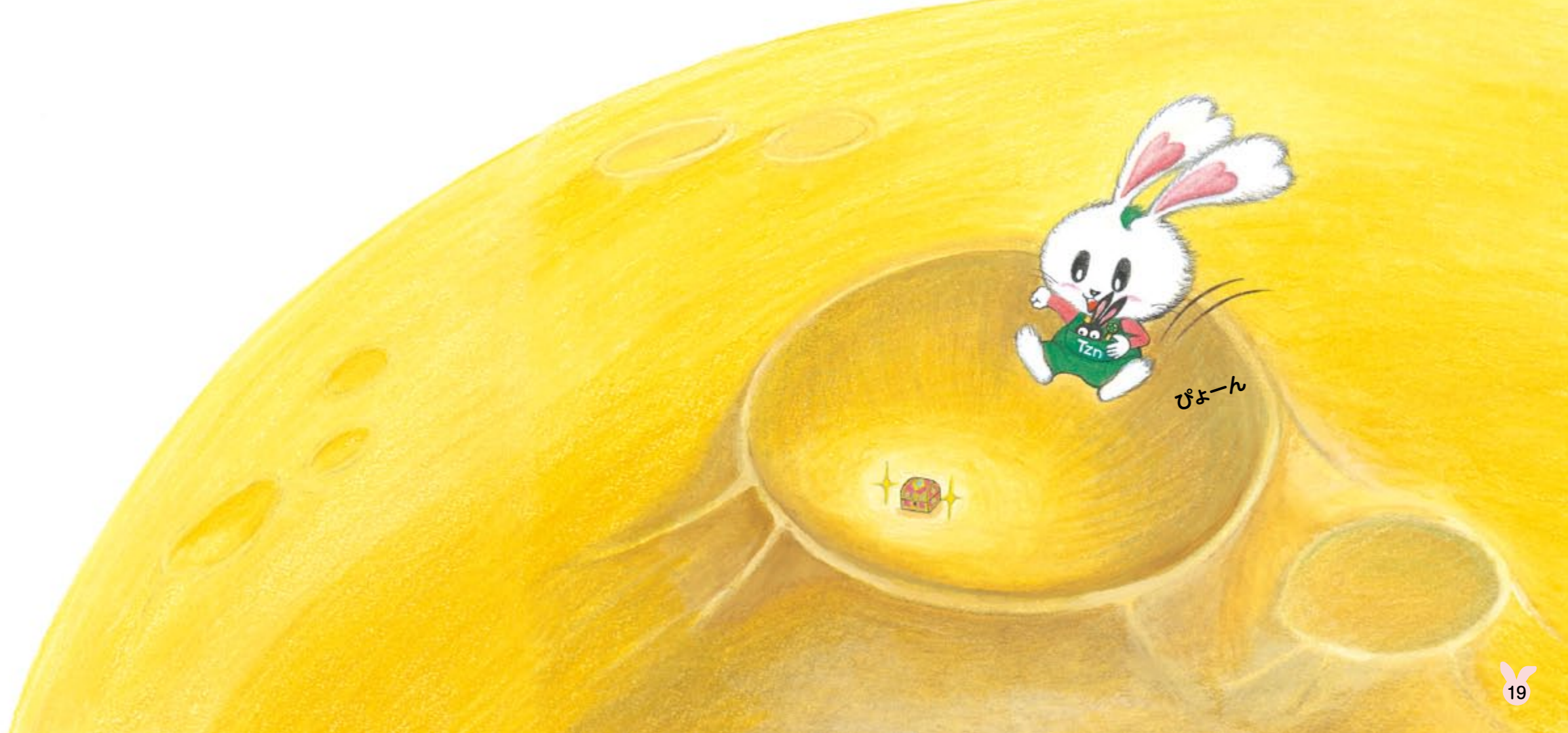
ついたね ついたね
おつきさま!





「ラビーちゃん！
あなの なかに
とびおりにて！」

ラビーは
ぴょーんと とびおりました
すると あなの そこには
はこが ありました



ミミちゃんは はこの
カギを あけました

ガチャ
ガチャ





はこの なかから ハープが とびだしました
ミミちゃんが ハープを ポロンポロンと ひくと
おとが キラキラ かがやいて
ほしになりました
それは ラビーの かんげい パーティーの
あいず でした

つきに すむ うさぎたちが
みんなみんな やって きました
さあ たのしい うさぎパーティーの はじまりです
とんだり はねたり おどったり
たべたり のんだり わらったり



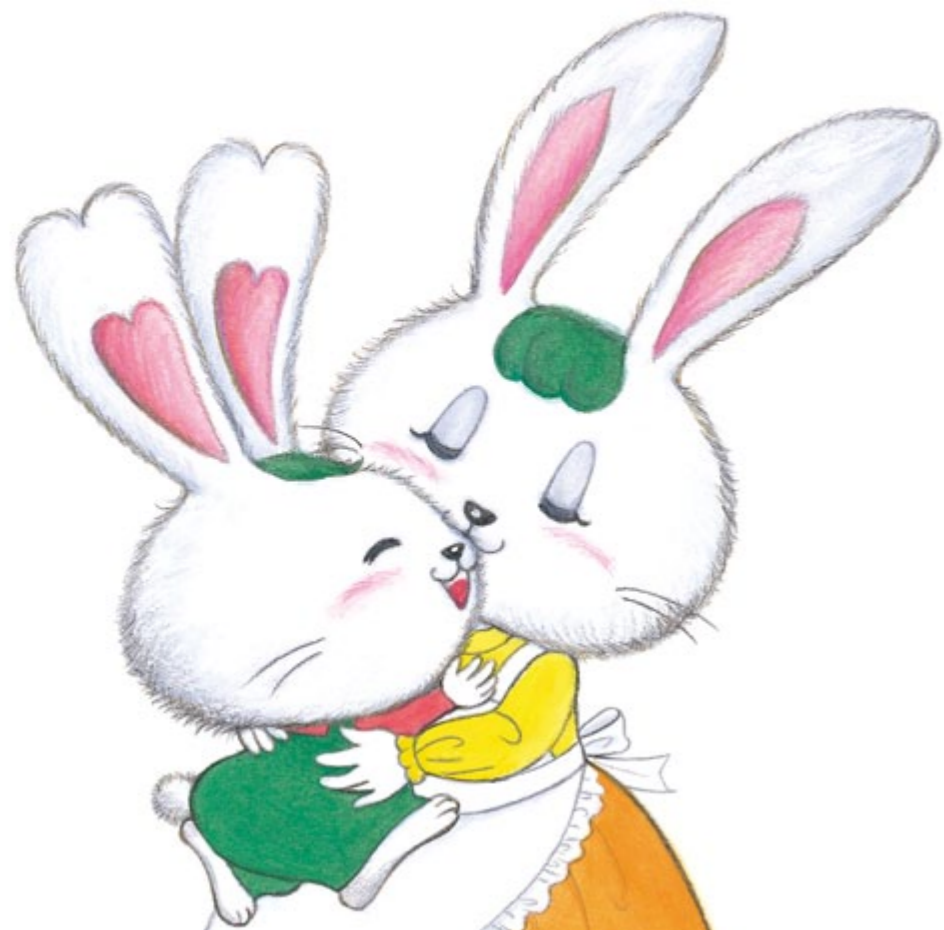


パーティーが おわりに ちかづいた ころ
ミミちゃんが いいました
「ラビーちゃん つきで いっしょに くらそうよ」

「どうしよう・・・」
ラビーは なやみました

そのときです
「ラビーちゃん！ おきなさい あさごはんよ」
とつぜん やさしい ママの
こえが きこえ ました

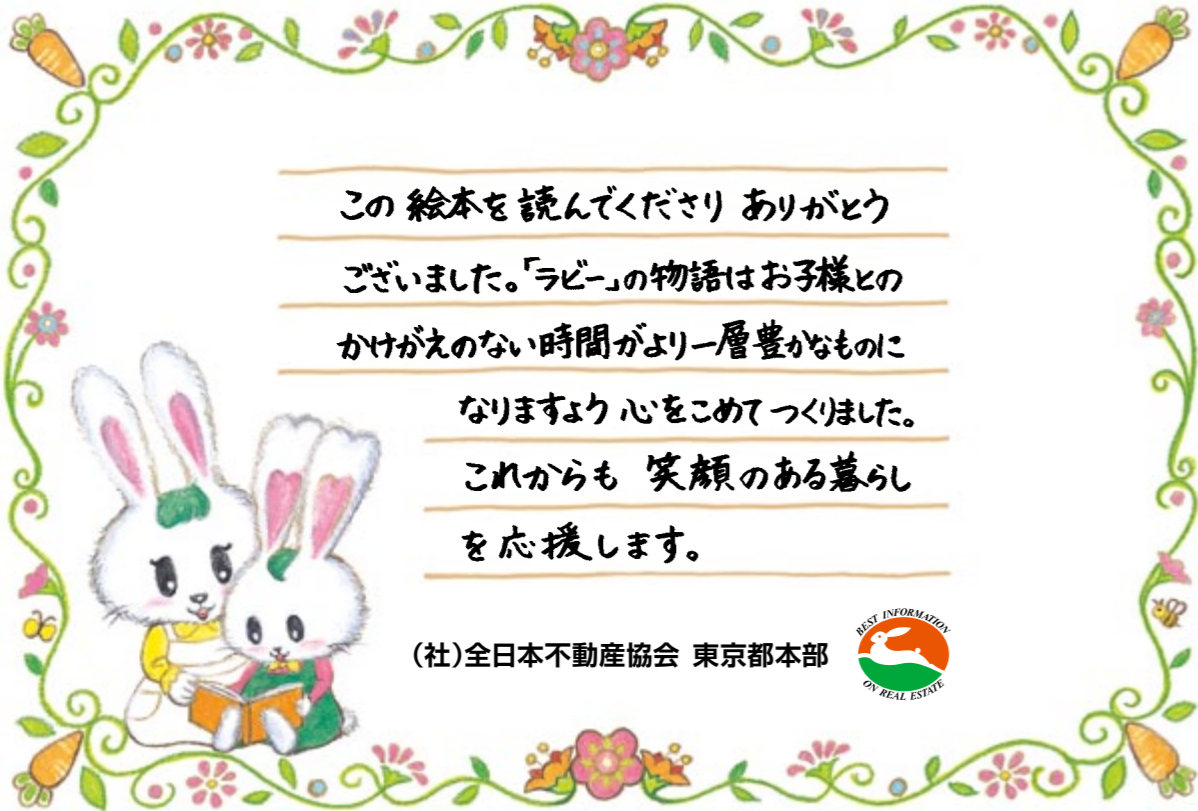




「ママ！ ぼく ゆめの なかで
おつきさまに いったんだよ！
とっても たのしかった！」

「でも パパと ママが いる
おうちが いちばん！」
ラビーは ママ とくせいの
おいしい キャロットケーキを たべました





この絵本を読んでもうありがとうございます

ございました。「ラビー」の物語はお子様との

かけがえのない時間がより一層豊かなものに

なりますよう心をこめてつくりました。

これからも笑顔のある暮らし

を応援します。

(社)全日本不動産協会 東京都本部



ラビーのつきりょこう

2010年3月31日 初版発行

発行所 社団法人 全日本不動産協会東京都本部

〒102-0093 東京都千代田平河町1-8-13 全日東京会館

電話 03-3261-1010

FAX 03-3261-6609

<http://www.tokyo.zennichi.or.jp>

文・絵 安野 美奈子

ラビー原案者 東 信 慶

